

今後5年に向け重要な年に

市議会第1回定例会は、2月18日から3月23日まで開かれ、議会初日に、田村正彦市長が令和3年度の施政方針を述べました。主な施策と主要事業の概要の一部を抜粋し、第2次八幡平市総合計画基本構想に掲げる5つの基本目標に沿って紹介します。



はじめに

昨年の新型コロナウイルス感染症の災いは、観光・宿泊業をはじめ多くの市民の皆さんのなりわいに大きな影響を与えました。新型コロナウイルスに負けず、皆さんの元氣と笑顔、そして日常が戻りますよう切に願ひ、ワクチン接種や各種支援などの感染症対策に取り組んでいきます。

今年は、市勢発展の最も根幹となる第2次八幡平市総合計画後期基本計画の初年度であり、今後の5年に向けての取り組みを始める重要な年度です。前期基本計画からの継続事業はもとより、新規事業も確実に実

施していきます。
「ともに暮らし、しあわせ感じる八幡平市」の実現を目指し、国、県と力を合わせて人口減少に立ち向かい、持続可能な地域づくりのためにより一層努力していきます。

1 未来への希望にもえるまちづくり

▼人口減少対策

市の人口ビジョンに掲げる2040年の人口目標値1万8800人を目指し、2年3月に策定した第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる4つの基本目標と13のプロジェクトに継続的

に取り組んでいきます。また、コロナ禍における都市部からの移住希望者に対し、積極的な移住相談や情報発信をしていきます。

▼地域おこし協力隊

3月で2人が任期満了となり、定住を希望しています。引き続き活動する2人と新たに任用する予定の3人の隊員の活動を支援していきます。

▼保育

松野と寄木の保育所統合・新築は、10月の開所を目前に整備を進め、待機児童の解消に向け、0歳児の定員を12人増やします。また、副食費の助成や保育料の軽減を継続し、保護者の経済的負担を軽減していきます。

2 ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり

▼医療費助成

4月から対象を高等学校卒業までに拡大し、子育てに係る経済的負担の軽減に努めていきます。

▼人・農地プラン

策定したプランを基本として、農業委員や農地利用最適化推進委員と協力し、今後の地域農業や農地保全を実現していくよう努めていきます。

▼花き振興

初出荷となる八重咲の鉢物リンドウを中核となる市場に先行出荷し、花

3 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり

▼新型コロナウイルス感染症対策

感染拡大防止対策を引き続き行いながら、新型コロナウイルスワクチン接種対策室において、市民のワクチン接種を的確かつ迅速に進めていきます。

▼産婦

産後2週間と1カ月に行われる産婦健診費用の全額を助成します。併せて、産後に心身の不調や育児不安などを抱える産婦に対し、心身のケアと保健指導をします。

妊娠・出産に係るリスクが高い周産期母子医療センターに通院が必要



松尾総合運動公園の北側に建設中の松野と寄木の統合保育所完成予想図



ルワンダの現地法人の社員がリンドウ農家を訪れ、収穫作業を学びました(令和元年8月27日)



八幡平ドラゴンアイには国内外を問わず、たくさんの誘客が期待されます(令和2年6月9日)



短期間でプログラミングを学ぶスパルタキャンプで起業家を生み出しています(令和2年9月12日)



新型コロナウイルスワクチン接種に係る市内医療機関との打ち合わせ会(令和3年3月22日)

な妊産婦には、通院に係る交通費などの一部を助成します。

▼高齢者

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいきます。また、データ分析により地域の健康課題を見つけ、個別支援や通いの場などへ関与しながら支援をしていきます。

▼老人クラブ

休止や解散の一因となっている運営に係る事務負担を軽減するための支援を行い、高齢者の社会参加活動の場の確保に努めていきます。

▼敬老事業

市主催の敬老会開催を見直し、地域による敬老事業の実施経費の一部を補助していきます。

▼成年後見制度

権利擁護の必要な人に対し、適切な支援につなげるため、中核的な機関となる「市成年後見センター（仮称）」を設置し、制度の普及啓発や利用促進、関係機関との連携を図っていきます。

▼市立病院

昨年の安代診療所に続き、4月から田山診療所を病院事業会計へ移行し、3施設における診療体制の充実を図るとともに、医療環境と医療ニーズの変化に対し、迅速かつ柔軟に対応していきます。

▼学校教育

学校教育方針の実現に向けて、市の次代を担う人づくりを目指していきます。

▼生涯学習事業

各コミュニティセンターと連携しながら、子どもから高齢者まで、年代に応じた学習機会の提供に努めていきます。また、来年3月の完成に向け、引き続き平舘コミュニティセンターの整備を進めていきます。

▼日本遺産に認定された安比川流域の漆文化

二戸市と共同で組織する協議会を事業主体として、地域に根差した漆文化の調査・研究を進め、保存・活用を図っていきます。

▼スポーツ活動の推進

現在策定中の第2次市スポーツ推進計画に基づき、市体育協会など関係団体と連携し、市民スポーツ大会やスポーツ教室の開催、スポーツ少年団と競技団体の育成や支援に努めていきます。また、来年2月に開かれる第71回全国高等学校スキー大会の準備を進め、5年2月に開かれる特別国民体育大会冬季大会スキー競技会に向けて、矢神飛躍台の改修などに取り組んでいきます。

▼東京オリンピック・パラリンピック6月にオリンピック聖火リレー

などについて、引き続き理解を深めていきます。

5 ふれあいを大切に、人情あふれるまちづくり

▼コミュニティセンター

3年度は、次期指定管理者の指定に関し、手続きを進めていきます。また、地域の課題解決や活性化を図るための自主的な事業に対して、新たな補助制度を創設し、支援していきます。

まちづくりの目標を支える社会基盤整備と行政経営方針

▼ハロウィンターナショナルスクール

市道安比高原駅線への歩道と街路灯の設置工事、上水道の配水管布設工事を行い、支援していきます。

▼都市計画

大更駅前線沿道整備土地区画整理事業を継続して進めていくとともに、引き続き商店街店舗整備に対する支援をしていきます。また、現在工事中の大更駅西口駅前広場整備事

業は、3年度中の供用開始を予定しています。

▼地域公共交通

コミュニティバスとスクールバスの統合など、交通弱者の移動手段を確保できるような総合交通ネットワークの構築を検討していきます。

▼道路整備

市道鴨志田線整備事業などを継続して進めていきます。

▼道路維持

随時、道路補修を行うとともに、順次、法定点検の結果に基づいて橋りょう補修をしていきます。

▼除雪対策

タイヤドーザを更新し、各地区の実情に応じた除雪をしていきます。

▼下水道事業

公共下水道事業の管渠整備を継続するとともに、下水道施設の更新計画を策定していきます。また、農業集落排水施設の延命化と機能修繕を継続して進めていきます。

▼災害に強いまちづくり

関係機関や消防団との連携強化を図るとともに、学校や地域などにおける防災教育や防災講座、防災訓練などを通じて自主防災組織化を促し、地域防災力の向上に努めていきます。また、防災マップを更新して市内全世帯に配布し、さらなる注意

ロードバイクの選手はホテル安比グラウンドに泊まり、安比高原レインボーライン―岩手山パノラマライン―焼走り線までの往復50*のコースでトレーニングに打ち込みました(合宿期間：令和元年7月23日～8月13日)



策の構築を進めていきます。

▼市清掃センターなどの管理運営

長期包括的民間委託方式により、10年度まで引き続き民間事業者が委託していきます。併せて、将来にわたり持続可能な適正処理を確保するため、ごみの広域処理に関する協議、検討をしていきます。

▼再生可能エネルギー

「地熱資源の活用による地域の産業振興に関するモデル地区」の認定を受け、沸騰地熱塾や子ども地熱探検隊の実施、地熱環境学習教材を作成し、地熱資源のさらなる活用方法

喚起を図ります。

▼交通安全

昨年、市内で発生した交通死亡事故は4件で、全て高齢者が犠牲となっています。交通死亡事故ゼロを目指し、高齢者への交通安全啓発に努めていきます。

▼空き家対策

空き家の利用促進に取り組み、管理不全な空き家は所有者調査を進め、必要に応じて特定空き家等の認定をしていきます。また、2年度に特定空き家等の認定をした物件の所有者に対し、助言や指導など必要な措置を行い、その解消に努めていきます。

▼公共施設の管理

公共施設総合管理計画に基づき適切な管理をするともに、未利用財産の積極的な売却や貸し付けを進めていきます。また、2年度の調査で判明したPCB使用機器の撤去と処分をする予定です。

▼市の行政組織機構

地域振興課をまちづくり推進課と文化スポーツ課に再編し、業務を進めていきます。

令和3年度予算は、次号の広報で紹介します。



安比高原駅正面の丁字路から見た建設中のハロウィンターナショナルスクール(令和3年3月17日)



大更駅前線や大更駅西口駅前広場が整備され、これから街並みが大きく変わっていきます(令和3年3月17日)